

学生ボランティア

ボランティア
関連サークル編

学内にはボランティア活動をその目的の一つに結成されたクラブ・サークルが3つあります。

ボランティアサークル(部員10人)、スポンティアサークル(部員18人)、そして日本医療大学 CBR サークル(部員11人)です。ボランティアサークルは学内外の様々なボランティアに適宜参加しています。スポンティアサークルはスポーツもボランティアもという集まりで、日本医療大学 CBR サークルは国際ボランティアに目を向けている学生の集まりです。

盲導犬協会や北海道マラソンのスタッフとして 主に学外の活動を今年は積極的に取り組みました。

北海道マラソンのスタッフボランティアには10人の学生が参加したそうです。写真向かって左は代表の看護2年上竹加寿子さん。



車いすを贈られた方の右横で満面の笑みを浮かべているのが、日本医療大学から参加した井澤さん。

また個人でこの夏ボランティアに参加した学生も多かったのですが、リハビリテーション学科2年の伊澤琉奈さんはタイまでリサイクルの車いすを運ぶ活動を行いました。日本で使われなくなった車いすを集め、修理をし、海外旅行をする旅行者の手荷物として、発展途上国の病院や施設に、直接送り届ける活動をしているNPO「飛んでけ! 車いすの会」の20周年記念企画に参加しました。8月28日から9月3日まで、5人の他大学の若者たちと4台の車いすを届けたそうです。



1年で最も学生のボランティア力が発揮されるのはもちろん つしま医療福祉グループがアンデルセン福祉村で実施する、 アンデルセングルメ祭りです。

今年もその24回目のお祭りが9月1日(土)に開催され、学内から47人の学生が参加してくれました。他大学の学生、高校生、社会人の方たちとともに、総勢153人のボランティアで、模擬店の販売や会場係、高齢者の介助のお手伝いをし、最後にグループの対馬理事長から感謝状を手渡されました。



今年も6000人あまりの地域住民が、真栄キャンパスの噴水の周りで、夏の1日のグルメな日を堪能しました。



清田区のマスコットキャラクターは例年リハビリテーションの学生ボランティアが担当します。



感謝状を手にする看護の学生たち。



日本医療大学キャンパス通信

学生委員会が発行する
日本医療大学の「今」を伝えるニュースレター

no.20・21

2018.12.1 発行

学内活動&風景

今年も6月に護身術講座を実施

安心・安全週間のメインイベント、護身術講座が例年どおり北海道警察のご協力のもと、真栄キャンパスと恵み野キャンパスでそれぞれ実施されました。

まずは手で盾のような壁を作り、「やめろ」と叫ぶ練習から始まり、最後は手に武器を持っているかもしれない加害者からの身の守り方など、実践的な講座でした。笑いあり、緊張ありの緩急に富んだ本当に役に立つ内容です。最も大切なことは危険を察知したらとにかく逃げることで、「自分は逃げるのが世界一得意と思いついて逃げるのが肝心」なのだそうです。道警の皆様、毎年本当にありがとうございます。



初めての就職説明会

恵み野キャンパスでは来年初めて卒業生が巣立つため、10月6日に就職説明会が行われました。

全国から約100施設の担当者が来校されて、スーツ姿の作業・理学療法専攻の4年生たちは熱心に説明を受けていました。

4年生は臨床実習を終え、これから就活・国家試験と3月まで充実した毎日を過ごします。初志貫徹!!!



診療放射線学科、認知症サポーター養成講座実施

11月16日、診療放射線学科1年を対象とした認知症サポーター養成講座が開講しました。ボランティアの授業をお借りして制度の説明や認知症とはどのような疾患か、その方たちの「人間の杖」となるための工夫や対応等の学習をしました。参加者は28名でしたが、認知症研究所の対馬輝美所長も聴講に見えられ、学生たちからは、「高齢社会に備え若い世代が積極的に認知しようの方たちに関わっていくべき」、「病気があるから介護するという姿勢ではなく人として助けるという意識が大切だと分かった」という意見とともに、1年生全員が参加できる機会にやってほしかったという要望も寄せられています。



サポーター認証の印、オレンジリングを腕に着けると、今日からあなたたちは、認知症サポーター!!

日医大生に聞きました!

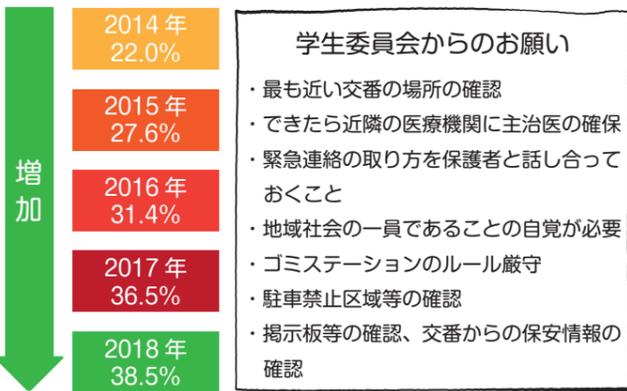
2018年 生活に関するアンケート調査報告

全学年全学科の調査結果の質問の集計です。今年協力してくれた学生は629人でした。毎年本当に回答へのご協力ありがとうございます。毎年単純集計をお知らせしていましたが、今年は年々の変化にも注目してみました。

	看護学科	リハビリテーション学科	診療放射線学科
1年	90	65	54
2年	73	44	48
3年	73	59	42
4年	52	29	
合計	288	197	144
	629		

2018 Campus Data 日医大生の生活習慣について

● 1人暮らし率



学生委員会からのお願い

- ・ 最も近い交番の場所の確認
- ・ できれば近隣の医療機関に主治医の確保
- ・ 緊急連絡の取り方を保護者と話し合っておくこと
- ・ 地域社会の一員であることの自覚が必要
- ・ ゴミステーションのルール厳守
- ・ 駐車禁止区域等の確認
- ・ 掲示板等の確認、交番からの保安情報の確認

1人暮らしの率が年々増加しています。遠隔地から本学を受験している学生は10人中4割弱。

● 大学に最も望むことは

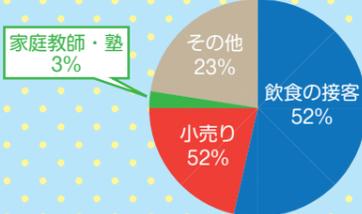
- ・ 国家試験対策
- ・ 事務局の体制改善
- ・ コピー代無料にして
- ・ 交通の便
- ・ 勉強の指導
- ・ アクセスのよい新しいキャンパスと病院
- ・ 偏差値上がり大学が有名になること
- ・ 学習が定着するようなカリキュラム
- ・ 国家試験の合格率の上昇

2018 Campus Data 学生のアルバイトについて調査しました。

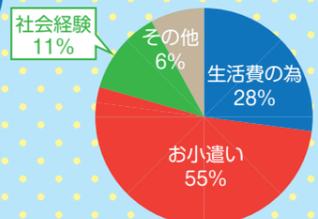
学生のアルバイト率も年々高まっています。



● アルバイトの職種を簡単に教えてください。



● アルバイトをしている主な目的は何ですか？



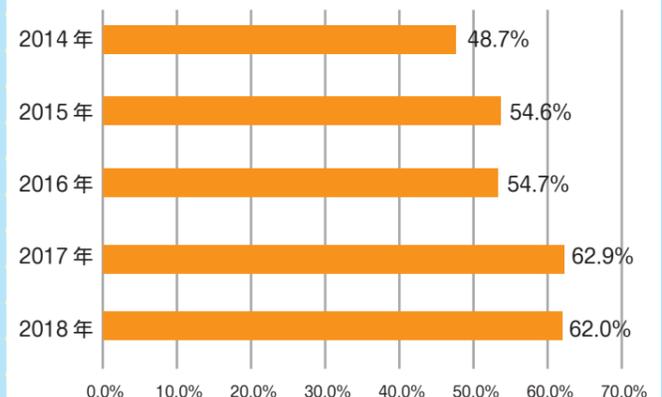
アルバイトと学業の両立は大丈夫なのですか。。。

2018 Campus Data 奨学金の利用について調査してみました。

開学以来年々貸与を受ける学生の率は増加していましたが、今年度初めて利用している学生の率が下がっています。

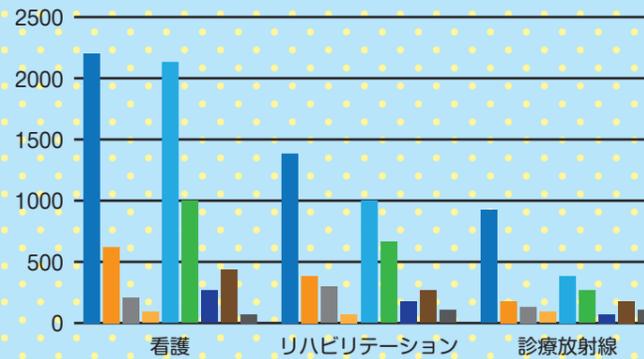
また、保護者から一切援助を受けていない経済的に自立している学生は33人でした。

貸与率の変化

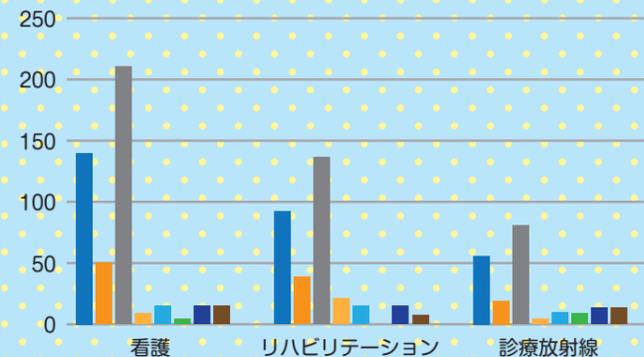


2018 Campus Data 大学生活について調査しました。

● 大学生活の中で、今後重点をおきたいと思っていることは何ですか？



● 現在、個人的な悩みを打ち明けたり、相談できる相手は誰ですか。



● 喫煙・飲酒等の習慣について

	2016年	2017年	2018年
現在の喫煙率	0.03%	6.1%	9.1%
現在の飲酒率	31.7%	48.6%	54.4%

● 食堂について聞きました

- ・ アイス、ホットドック、肉まん食べたい
- ・ 100円朝食の時間を延ばして
- ・ メニューをもっと増やして
- ・ 果物が食べられるようにして
- ・ ご飯やおかずの量が調節できるようにして
- ・ ファーストフードを増やして
- ・ 混んでいるので、席を増やして

● 孤独を感じる理由は

- ・ コミュニケーション能力がないから
- ・ ヒトを信用していないから
- ・ 学校行事に参加していないから
- ・ 1人暮らしだから
- ・ 心の底を打ち明けられる人がいない
- ・ 表面上だけの付き合いがほとんどだから
- ・ クラスで団結できていない、バラバラな感じ
- ・ 心が弱いから

● 学友会活動への参加について

・ 積極的に参加したいと思う	8.1%
・ 興味のあることには参加してみたい	37.7%
・ あまり参加したくない	24.0%
・ 全く参加したくない	23.9%
・ 未回答	6.3%

● 孤独を感じているのは

	感じる人数	回答者に占める%
看護学科	39	13.5%
リハビリテーション学科	23	11.7%
診療放射線学科	19	13.2%

禁煙のすすめ

学内は禁煙ですが、学外に一步出れば喫煙は何をしてもいいのでしょうか。最近ノテ福祉会の方たちから、福祉施設の入り口付近で喫煙している学生の姿が目立ち、福祉施設に見学に来た方たちの目につくようになったという相談が来ました。大学では敷地内3ヶ所に禁煙の看板を設置しましたが、学外に一步出ると管理することはできません。喫煙をしている学生たちの自覚に期待するしかない状況です。これから皆さんが就職をしていくことになる病院や施設もそのほとんどは禁煙です。学生のうちに煙草を吸う習慣を見直してはどうでしょうか。

煙草は明らかな健康阻害要因です。将来医療に携わる皆さん自身も、もっとこのことを真剣にとらえ、議論してくれることを期待します。他の医療系の大学では学友会を中心に禁煙運動を展開しているところもあるという話です。

学生委員会



5年目にして今年は300人を超える学生が終結しました

島本総長の笑顔も素敵でした。

まずは作戦会議から・・・

負けるもんか！

場を盛り上げてくれました。

第5回体育大会 アルバム集

Photo collection of the 5th sports competition

学友会の主催行事の中で、一年で学生たちが最も躍動する一日です。キャンパスでは見ることのあまりない、リラックスの中に噴出する緊張感、縦横無尽な活動が展開する各種競技、カメラがとらえた瞬間を編集しました。

準備に奔走してくれた実行委員会の皆様、ありがとうございました。また保健室の船山先生、けが人の応急処置にご尽力くださったリハビリテーション学科の向井先生、毎年のこととはいえ、この場をお借りして改めて感謝の意を伝えさせていただきます。

日時	6月5日(火) 10時00分 開会 16時00分 閉会
会場	北海道立総合体育センター(北海きたえーる)メインアリーナ 住所 札幌市豊平区豊平5条11丁目1-1 代表電話番号 011-820-1703 アクセス 地下鉄東豊線「豊平公園駅」直結(地下通路200メートル)
種目	・バスケットボール ・バレーボール ・ドッジボール ・フットサル ・綱引き ・学科対抗リレー
参加	看護学科 112人 リハビリテーション学科 145人 合計 319人 診療放射線学科 62人



チーム力、見せてもらいました。

チーム力、見せてもらいました。

実行委員会の学生たちは、縁の下の作業を黙々とこなします。

第5回 日本医療大学 体育大会

第5回 日本医療大学 体育大会

第5回 日本医療大学 体育大会

第5回 日本医療大学 体育大会

— 緑組 —

— 赤組 —

— 黄組 —

— 白組 —

第5回日医祭

今年の日医祭は日本医療大学学友会創設 5 周年記念となった大学祭です。記念のイベントとして青山テルマの Live が企画されました。学祭の内容は模擬店が 13 店、各学科の学生によるミニオープンキャンパス、学生委員会の 19 号まで発刊された「あずまし」のパネル展示をした「大学の歩み展」、学内団体による映画観賞会などでした。また本部会テントでは北海道胆振東部地震のための募金活動、去年に続いて 2 回目となったフード・バンク・フェアも行われました。



毎年清田区健康支援センターから講師が派遣される衛生講習会。食中毒を出さないための留意点などを学びます。

スタッフ間の情報共有は LINE。学友会本部会、クラス代表、有志が 30 人あまりがこの日初めて皆で顔を合わせて打ち合わせ。
ゴミ箱づくり、テント張り、清田区による衛生講習会、学内の装飾、ステージの造営が実施されました。



準備完了!!
昨年の装飾品を大活用。祭りの気分が、華やぎます!



ゴミ箱づくりから始めます 体育館がLive会場に大変身



10/6 公開日・模擬店の様子



10/6 公開日・会場内の様子



被り物が似合っていました!

卒業生も来てくれました!
ありがとう!



実習室での「大学の歩み展」、毎年パネルの数は増え実習室を囲むまでになりました。



まったり過ごしていたのはリハビリテーション学科の先生たち

ミニオープンキャンパス



総長、診療放射線学科の樋口先生と妊婦体験の支度で記念撮影



対馬理事長、お忙しい中、ありがとうございました。



青山テルマLive 入場開始



期待が高まります!



スタート!



第5回日医祭を終えて・・・

5 年間学友会の活動を見てきましたが、この学祭ほど思い出に残ることになったことはありません。第 5 代会長のリハビリテーション学科 2 年大坪君の頑張りとその仲間たちの協力が実ったと思います。

いつも模擬店のご協力をいただく手作り水餃子の山田先生、森口先生、松本先生、大切な研究会の出席を取りやめて学生たちのイベントに参加してくださいました。毎年大赤字を抱えながらカフェを開いてくださる斎藤リカ先生、機械まで購入してポップコーンの模擬店を開いてくださった看護の合田先生、本当にありがとうございました。いきなりミニオープンキャンパスのご助力をいただいた各学科の学生委員会の諸先生、そして何よりある時はテント張り、ある時は切符のもぎり、またある時は模擬店の販売にお手伝いをいただいた事務局の皆さま、ご退職をすることになっていたのに駆け付けてくださった竹内次長、いつもそばにいてくださった鶴田参与、そして学生たちのことを一番理解してしてくれた小野寺さん、学生たちに代わってこの場で心から皆様に感謝申し上げます。

全ての模擬店のものを購入してくれたと聞きました、島本総長。模擬店の数が少ないと出店してくださった後援会の保護者の皆さま、多忙な中でも様子を見に来てくださった対馬理事長、学友会に代わって学生委員会委員長として心からの感謝をここに述べさせていただきます。

学生委員会委員長 学友会運営顧問
林美枝子



スタッフの学生たち、本当におつかれさまでした。